

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 11 月 8 日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|--------------------------------------|-----------|--|
| 事業所番号 | 3470900659 | | |
| 法人名 | 特定非営利活動法人はあとぅおーむ | | |
| 事業所名 | グループホームたんぼぼ | | |
| 所在地 | 広島県三原市和田3-10-19 (電話) 0848-81-0670 | | |
| 自己評価作成日 | 令和3年10月9日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470900659-00&ServiceCd=320&Type=search |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 令和3年10月25日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

みんなで一緒に楽しく過ごせるように、寄り添いながら馴染みのあるサービスを提供することを目指しています。理念である「今、ここで楽しんで」「今、ここで笑って」「今、ここで輝いて」を念頭に、一人ひとりのペースでゆったりと生活が出来るよう環境整備に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

開設から実践している理念やケア方針を基に、笑顔を大切にすることを念頭におき、利用者に限らず職員自身の笑顔や表情にも意識を強く持ち、日々の取り組みに力を入れている。一人ひとりに目を向け様子をしっかりと把握しながら、選択しやすい声掛けや誘導を元に個人の力の発揮や良さを引き出せる支援に務めている。職員は日頃の関わりや気付きをミニミーティングなどで情報共有をこまめに行い、利用者の個々の思いや様子を周知しながら支援することができている。医療との連携も、管理者が看護師であることもあり特変時の対応や、利用者の状態や変化に主治医と密に連携を行っている。コロナ禍において地域行事や外出など難しい状況下の中、近隣住民との近所づきあいや民生委員との関わりを継続し地域の情報を収集し共有している。現状を踏まえながらできることに着目した取り組みに務めている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|--|--|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。 | ミニミーティングなどで笑顔という言葉を出し、日々の中で笑顔を引き出せる様な声かけをするようにしている。 | 開設当初からの理念、ケア方針を念頭に「笑顔」を大きな指標としており、日々のケアにおいて利用者の笑顔を引き出せるよう実践に努めている。管理者は職員の笑顔や表情にも留意し、職員自身が笑顔であり支援に携わることが利用者の笑顔や輝ける生活に繋がることを職員全員の共有認識として取り組んでいる。 | 理念の共有、確認の機会が十分に得られていない状況があります。定期的な確認など周知や理解を深める機会を作ることや、理念を具体的に中身を振り返りや評価をしていく機会を作っていくことで、更なるサービスの向上や職員の資質を高めるものとなることを期待します。 |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 民生委員から、地域行事の情報をもらう。 | 近隣の住民から日常的な近所づきあいの中で地域の情報が得られ、花の水やり、手入れの時に気さくに声を掛けてもらえることや、花や野菜を頂くなど開設からの関わりにて親交も深く根付いている。コロナ禍にて地域行事の中止が続いているが、民生委員との関わりから地域行事など様々な情報共有を行っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | キャラバンメイトとして声が掛かればサポーター養成に協力できる体制にある。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 地域情報を得るようにしている。 | 感染症対策から利用者、家族の参加は控え、少人数での集合にて開催している。利用者、家族の意見や情報は日々の関わりから確認しており、会議にて共有し全体での意見交換を行っている。会議議事録は全家族に送付し、運営や取り組みなどの理解や周知に務めている。 | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 市の窓口へ行き、気になることは相談するようにしている。 | 運営推進会議にて、市役所担当者、高齢者相談センター職員の参加があり定期的な意見交換がなされている。利用者の処遇に関する質疑についても適宜連絡し確認しており、関係性を構築している。市の主催するオンライン研修にも参加をしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 日々の申し送り、報告等で自覚しない身体拘束が行われていないか、ケアを振り返るようにしている。 | 年間2回、定期的に研修を行い身体拘束廃止について理解を深めている。普段から気付いた時にミニミーティングやカンファレンスにとりあげ、ケアや支援の振り返り、検討を行い利用者の状態に合わせた適切なケアを共有し実践することで未然に防げるようにしている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | オンライン研修後は話し合うようにし、勉強会にも行っている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 成年後見人制度が必要な人には紹介するようにしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 時間を取って丁寧に説明し、重度化や看取りの対応についても説明している。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 言葉として発せられる意見は採り上げているが、運営に反映するまでには至っていない。 | 利用者へは日々の関わりから思いを確認している。家族とは来所や面会時、電話連絡にて話をする機会を適宜設けて意見を伺っている。面会について家族の思いとしても意向が強くあることを検討し、時間帯の制限など感染症対策に基づき面会を行い、できる限り対応するようにしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>要望や意見を聞くよう声かけしてはいるが、不満や苦情などは言い難い部分も多いと思われるので、把握し切れていない所がある。</p> | <p>ミニミーティングでの意見交換や、管理者は日々の業務の中で個々に話を行い、日常的な関わりを通してこまめに思いや意向の把握に努めている。こうしたということにとりあえずやってみるという方針にて取り組んでいる。事務長やリーダー職員にも相談がしやすく、意見を伝えやすい職場風土が形成されている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>キャリアパスの導入や、資格所得に向けた研修参加を勧めている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>個人の力量・状況に応じて行っている。またオンライン研修に参加した人には、所内研修で発表の場を設けるようにしている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p> | <p>地域の同業者とは思うよう交流できていない。(コロナ禍もあり)</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p> | <p>サービス利用について相談があったときは、必ず本人に会って心身の状態や本人に向き合い、本人に受け入れられるような関係作りに努めるようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | これまでの経緯についても、ゆっくり話を聞くようにしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 状況等を確認し、必要なサービスに繋げるようにしている。他の事業所へ紹介も行っている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | お互いが協働しながら和やかな生活が出来るよう、場面作りや声かけをしており、少しずつ出来ている。食事作りや掃除など、出来ることを少しずつ共に行っている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 日々の暮らしの出来事や、気付きの情報共有に努め、本人を支える姿勢であることを伝えるようにしており、少しずつ築けている。月に1回便りを出している。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | コロナ禍もあり面会はそのときの状況に応じて行っている。 | 利用開始時に生活歴や個人の背景を確認している。コロナ禍であり外出などは難しい状況下であるが、面会の実施や家族が持参された写真を見てもらったり、自宅への外出や外泊を行えるようにした事例などがある。以前は行きつけの美容院に行ったり、スーパーへの買い物へ行くなど日常的に行われていた。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | お茶や食事の時間をスタッフと共に過ごし、少しでも会話を多くするようにしたり、役割・活動等を通して利用者同士の関係がスムーズにいくよう努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 継続的な関わりを必要とするケースが今は無い。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々の関わりの中で声を掛け、把握に努め言葉や表情などからその真意を推し量ったり、それとなく確認するようになっている。 | 日々の関わりから思いの把握に努めており、利用者が言い易いように言葉掛けを行い誘導することや、選択肢を提供して選びやすいようにするなど、聞き取りの仕方や気持ちの汲みとり方に工夫がみられる。表現の難しい方には家族へ確認し、普段の表情など様子から汲み取り本人本位に検討している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 本人自身の語りや家族との会話など、少しずつ把握に努めており、少しずつ情報が取れている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | できること・わかることに注目し、その人の全体の把握に努めるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>利用者によっては家族との話し合いが十分に出来ていないケースがあるが、短時間でも極力話しをするようにしている。本人の認知のレベルによっては、本人の思いが十分に把握できず反映しきれないケースもあると思われる。変化に応じて見直しも行っている。</p> | <p>利用者、家族の思いの確認や日常生活の様子などから計画作成者が情報を収集し、全職員の意見を踏まえ作成している。3ヶ月に一度モニタリングを行い見直しを実施しており、評価や見直しを次の計画に繋げている。医療面でも主治医との話を適宜行い、必要に応じた計画に反映させている。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>個別ファイルを用意して、日々の暮らしの様子や本人の言葉を記録するようにしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>家族の通院介助が困難な場合、往診して下さる近隣の病院を紹介している。突発時・急変時の受診においては、状況に応じて対応している。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>利用者が安心して地域での暮らしを続けられるよう、民生委員と意見交換する機会を設けている。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>本人や家族が希望するかかりつけ医となっており、要望・状況に応じて対応している。</p> | <p>希望により以前からのかかりつけ医を選択でき、今迄の馴染みの環境の選択を可能にしている。協力医は月1回の訪問診療と適宜、往診がある。管理者が看護師であり利用者の状態を詳細に把握した情報の連携が随時に行われ、安定した体調管理に繋がっている。必要に応じて歯科や専門科への受診を支援している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | ホームの看護師と常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供している。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 重度化に伴い事業所が対応し得る最大のケアについて説明を行っている。 | 利用開始時に重度化した場合の指針や看取りの指針を説明し書面にて同意を得ている。状況に応じてその時に再度説明し意向を確認している。主治医とも連携を図り、指示を基に家族と相談し、話をした上で支援している。状態や状況により病院にも入院するなど適宜、関係機関にも繋げている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 事故発生時には事故報告書を書いて再発防止に繋げていけるミーティングを行う。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | マニュアルを作成し、避難訓練を行っている。 | 年2回、毎回夜間想定にて避難訓練を実施している。水害を想定し2階に垂直避難をするなど訓練を実施し、点検も適宜行っている。災害種別に項目をまとめたマニュアルを整備しているなど有事の備えも整っている。備蓄は4日分を準備し、期限の確認を随時行い管理している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 記録には利用者の名前を書かないようにし、他の家族や外来者に対して、スタッフが本人のプライバシーに関する話を話さないようにしている。 | 利用者には人生の先輩として言葉遣いに気を付け、名前を名字で呼ぶことやケース記録などの個人記録で本人以外の氏名は記載せず、名称を他者などの表記に留めるなどプライバシーにも十分に留意し、利用者一人ひとりの尊厳の尊重を意識し実践している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 複数の食材を出して選んでもらっている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | この時間はこの人と一緒にと決めて、その人のペースを大切にし会話を楽しめるよう関わっている。またバイタル測定・体重測定を行い体調にも配慮している。歌が好きな方とは歌を、折り紙の好きな方とは折り紙を、と工夫している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 行きつけのお店がある場合は、そこへ行くように努めている。家族から要望があれば早めに行くよう心がけている。季節に応じた洋服選び、衣替えなども一緒に行っている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 職員も一緒におやつ（時に食事も）をし、見守りながら会話を楽しむ。 | 三食ともに手作りである。ホットケーキやたこ焼きなど調理レクも行うほか、季節の旬のものを柔軟に取り入れ季節感を感じながら食を楽しみ、料理や食材など見て楽しめる視覚にも働きかける取り組みにて食への楽しみが持たれている。食事の準備などできることも役割として実践している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> | <p>食事状況を記録しスタッフが情報を共有するようにしている。毎食コップ1～2杯程度は水分を飲んでもらうようにしている。体調に応じて食事内容・形態を変えたり、冷たいもの・温かいものと変化を付けるようにしている。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | <p>一人一人の口腔状態に応じた歯磨きの手伝いを行っている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | <p>自分でトイレに行けない方は、時間を決め誘導、介助している。自分でトイレに行ける方でも、本人の様子を見て声を掛けるなどしている。</p> | <p>ケア記録にて個人の排泄パターンを把握し、個々の様子に合わせて臨機応変に対応している。排便もトイレで座って行うなど、利用者ができるだけ気持ちよく排泄が行えることを念頭に支援している。</p> | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | <p>適度な運動や水分摂取に気をつけている。便通が分かりやすいよう記録には赤で線を引き、出ていないときは食事内容をチェックし水分をしっかりと摂ってもらうなどの支援を行っている。内服コントロールが必要な方は、状況に応じて飲んでもらっている。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>昼間に入ってもらっているが、本人が入りたくなければ翌日に回すなど、本人の意思を尊重している。</p> | <p>週2～3回入浴を行っている。本人のその時の意向を尊重し、時間や日にちをずらすなど柔軟に対応している。希望により同性介助を行い羞恥心にも配慮を行っている。冬はバスクリンを使用し季節の湯を提供するなど、心地の良い入浴となるように取り組んでいる。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。 | 一人一人の生活リズムを大切に して、いつでも自室へ行けるよ うにしている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。 | 個別に毎食後の薬を分け、手渡 してきちんと飲んだか確認して いる。自分で飲むことが難しい 方は、スタッフが着いて確実に 飲んで頂いている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。 | その人の力を生かした役割、楽 しみになるように支援している。 折り紙・ちぎり絵など出来る処 をしていただきながら、毎月の 作品作りを行っている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよ うな支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 本人の希望を把握し、家族や 地域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。 | 散髪は、近所に行っている。(現 在、散髪は行っていない) | 感染症対策のため、外出や散 歩は控えている。近所の美容 院に散髪に行く程度であり外 出の機会が少ないのが現状と なっている。以前はスーパー への買い物や近隣の公園や 散歩コースを歩いたり、外食 にもよく出かけていた。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。 | 自己管理が難しい面や、利用 者同士のトラブルを避けるた めにも持たないようにしてい る。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(1F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | <p>生活している様子など、毎月書面にて家族に報告している。イベント等の写真も請求書と一緒に送付している。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>リビング前の庭には、季節の花を植え成長を楽しんでいる。壁に季節を感じられるようなものを掲示している。</p> | <p>リビングではテーブルでゆっくりくつろぐことができ、その隣に和室があることで、利用者の好みや状態により、それぞれに合わせた形で落ち着いて過ごせる空間となっている。利用者が作る季節の作品などの展示もありアットホームな雰囲気で穏やかに過ごせる環境である。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>畳に座りTVを見るスペースや、ベンチ・ソファを置いて仲の良い利用者同士で寛げるスペースを作っている。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>利用者の好みや馴染みの物などを部屋に持ち込んでもらい、居心地の良い生活空間作りに努めている。</p> | <p>馴染みの物をお願いし、利用者それぞれに持参してもらっている。利用前に自宅の部屋を確認し、実際の様子や状況を参考にし、本人、家族と相談しながらベッドや家具などの配置を行い居室環境を整備している。写真など飾ったり、仏壇やタンスの持参があるなど、居心地の良い空間となっている。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>利用者の状況に合わせて手摺りや家具の配置等、家族と相談しながら工夫している。</p> | | |

| V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います | | | |
|---------------------------------------|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | ミニミーティングなどで笑顔という言葉を出し、日々の中で笑顔を引き出せる様な声かけをするようにしている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 民生委員の方から、地域行事の情報をもらうようにしている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | キャラバンメイトとして声が掛ければサポーター養成に協力できる体制にある。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 地域へ出掛けていくための地域情報を得るようにしている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | 市の窓口へ行き、気になることは相談するようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>日々の申し送り、報告等で自覚しない身体拘束が行われていないか、ケアを振り返るようにしている。</p> | | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>オンライン研修に参加して気になる所は話し合うようにしている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>成年後見人制度を利用している人が2人おり、必要な人には紹介するようにしている。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>時間を取って丁寧に説明し、重度化や看取りの対応についても説明している。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>言葉として発せられる意見は採り上げているが、運営に反映するまでには至っていない。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 要望や意見を聞くよう声かけしてはいるが、不満や苦情などは言い難い部分も多いと思われるので、把握し切れていない所がある。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | キャリアパスの導入や、資格所得に向けた研修参加を勧めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | オンライン研修に参加した人には、所内研修で発表の場を設けるようにしている。(コロナ禍で春から外部研修に参加できていない) | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 地域の同業者とは思うよう交流できていない。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | サービス利用について相談があったときは、必ず本人に会って心身の状態や本人に向き合い、本人に受け入れられるような関係作りに努めるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>これまでの経緯についても、ゆっくり話を聞くようにしている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>状況等を確認し、必要なサービスに繋げるようにしている。他の事業所へ紹介も行っている。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>お互いが協働しながら和やかな生活が出来るよう、場面作りや声かけをしており、少しずつ出来ている。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>日々の暮らしの出来事や、気付きの情報共有に努め、本人を支える姿勢であることを伝えるようにしており、少しずつ築けている。月に1回便りを出したり、来所時の会話を大切にしよう心がけている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>コロナ禍もあり、状況に応じて面会の対応をしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | お茶や食事の時間をスタッフと共に過ごし、少しでも会話を多くするようにしたり、役割・活動等を通して利用者同士の関係がスムーズに行くよう務めている。レクリエーションや利用者さん同士で協力し合っのおやつ作りなど行っている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 継続的な関わりを必要とするケースが今は無い。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々の関わりの中で声を掛け、把握に努め言葉や表情などからその真意を推し量ったり、それとなく確認するようにしている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 本人自身の語りや家族との会話など、少しずつ把握に努めており、少しずつ情報が取れている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | できること・わかることに注目し、その人の全体の把握に努めるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | 入居者によっては家族との話し合いが十分に出来ていないケースがあるが、短時間でも極力話しをするようにしている。本人の認知のレベルによっては、本人の思いが十分に把握できず反映しきれないケースもあると思われる。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 個別ファイルを用意して、日々の暮らしの様子や本人の言葉・エピソード等を記録するようにしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | 家族の通院介助が困難な場合、往診して下さる近隣の病院を紹介している。急変時の受診においては、状況に応じて対応している。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 利用者が安心して地域での暮らしを続けられるよう、民生委員と意見交換する機会を設けている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 本人や家族が希望するかかりつけ医となっており、要望・状況に応じて対応している。 | | |

| 自己 評価 | 外部 評価 | 項 目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------|----------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | ホームの看護師と常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供している。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 重度化に伴い事業所が対応し得る最大のケアについて説明を行っている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 事故発生時には事故報告書を書いて再発防止に繋げていけるミーティングを行う。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 避難誘導のマニュアルがあり、それに基づいて訓練を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 記録に個人名を残さないようにし、言葉づかいに気をつけながらプライバシーが保てるケアに努めている。記録を見直し書き方の指導をしている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 季節の食材や果物は、声かけをし目で楽しみながら選んでもらうようにしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 入居者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるようにしている。自由にリビングや廊下を往来されている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 近くに行きつけの理美容院があり、職員と一緒にいる。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 入居者に合わせて食べやすいように工夫している。入居者と一緒に職員が準備・食事・片付けをしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> | <p>1日30品目を目安に栄養や献立の工夫をし、身体機能に合わせて調理している。気持ちよく水分を摂ってもらえるように声かけすることを心がけている。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | <p>朝夕食後、歯磨きや義歯の手入れを行っている。食後入れ歯を外される方は、その都度見守り水洗いなどを行っている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | <p>排泄パターンに応じて声かけしている。あせもなどの皮膚トラブルがあるときは、洗浄や清拭など個々に対応している。</p> | | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | <p>野菜を1日30品目を目安に食べてもらうようにしている。水分摂取は1日1000cc以上を飲んでもらい、薬に頼らないで排便できるように心がけている。内服コントロールが必要な方は薬を飲んでもらっている。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>数日おきに個人の状況に合わせて午前中か午後、入浴して頂いている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 一人ひとりのリズムを大切にしながら昼間適度に活動のある生活を送り、夜間安眠できるようにしている。体操やレクリエーション等体を動かして、夜しっかり眠れるよう支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 内服時は誤薬しないように3度確認をして確実に飲んでもらうよう、見守り介助している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | 出来ることはして頂いている。自室の掃除（上拭き）、作品作りなど行っている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 散髪は近所の理美容院に歩いて（車椅子使用もあり）行っている。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 自己管理が難しい面や、利用者同士のトラブルを避けるためにも持たないようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2F) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | <p>家族からの電話に関しては、取り次いで会話して頂いている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>壁には絵画などを飾って、家庭的な雰囲気になっている。部屋に飾ってある絵を見て話をしたりし、一緒に作ったことを思い出してもらったり、季節を感じてもらったりしている。</p> | | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>リビングにはゆったりと座れるソファがあり、テレビを見たり利用者同士が会話できるよう配慮している。テレビ前は畳にしてあり、足を伸ばしたり座ったりと思いのままの姿勢で過ごせる。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>居室には慣れた生活用品が持ち込まれており、すぐに自分の居室だと分かるようにしてある。</p> | | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>時計やカレンダーを目につくところに置いて、1日の生活の中で時間を認識して頂いている。廊下には手摺りが有り、見守りで移動できるようにしてある。コーヒーやおやつ等、決まった時間に出すなど工夫している。</p> | | |

| V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います | | | |
|---------------------------------------|--|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | <input type="radio"/> | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームたんぽぽ

作成日 令和3年12月4日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|-------------------------|--------------------------|-----------------------|------------|
| 1 | 1 | コロナウイルス等の関係で笑顔が減ることがある。 | 感染症対策を行いながら余裕を持ち笑顔が見られる。 | 新しい生活環境の中でも笑顔の回数が増える。 | 1年間 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。